

平成27年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	81		学校名	茨城県立鬼怒商業高等学校					課程	全日制		学校長名	福田 洋治			
教頭名	宇都木 直之					事務(室)長名	飯村 好明									
教職員数	教諭	38	養護教諭	1	常勤講師	4	非常勤講師	7	実習教諭 実習講師 実習助手	4	事務職員	3	技術職員等	4	計	64
生徒数	小学科			1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数		
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	商業科			59	101	71	84	56	74	/	/	186	259	12		
	情報ビジネス科			15	25	6	34	3	36	/	/	24	95	3		

2 目指す学校像

本県教育の目標・校訓をふまえ、地域社会の要望に応えながら、人間性豊かな個性の伸長を図り、教養ならびに専門的知識を高め、広い視野と適切な判断力、たくましい実践力を備えた、心身ともに健全な、国家社会の有為な人材を育成する。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	・分かる授業を推進し、内容の充実を図ることにより、意欲的に学習に取り組む生徒が増加している。一方で学習意欲の低下による成績不振者も増えており、二極化がみられる。授業時間の確保には授業の振替やもらい授業が徹底してきたため自習の時間が前年度に比べて8%減少した。	・授業の充実を図るために教師の指導力向上の研修、および学習意欲の低い生徒への組織的・計画的な指導方法の探求が挙げられる。
生徒指導	・問題行動の未然防止のための取組として講話・集会・学校生活アンケートを実施した。また、服装指導や遅刻指導を全職員で取り組んだ。	・より組織的な生徒指導を行うために生徒指導対応マニュアルを活用し、問題行動の未然防止に努める。また、服装指導や遅刻指導での職員間のさらなる共通理解を図り取り組んでいきたい。
進路指導	・進路指導については、各学年とも実施した行事が学年の生徒の実態と本校の進路状況を踏まえた啓発的・体験的な内容であったこと、進路に関する情報を生徒に適切に得させることのできる内容で大変効果的であった。進路決定率は就職・進学ともに100%であった。	・進路実現100%を目指すために日々の学習活動の工夫とコミュニケーションスキルとビジネススキルのさらなる向上が必要とされる。
特別活動	・学校行事においては、生徒会役員とのコミュニケーションを図ることで、円滑な運営が実現できた。商業教育を生かし、クラス主体の文化祭を実施できた。	・生徒を自主的に活動させ、生徒の活動を活発化させるための体制づくりに取り組んでいきたい。また、生徒会活動の定例化や各運動部の目標設定について取り組んでいきたい。

4 中期的目標

鬼怒商業高校生としての誇りをもった、社会に貢献できる有為な人材の育成に努め、活気ある校風の確立を目指す。
そのために、次の7項目を努力目標とする。

- 1 学力の向上に努める。
- 2 安定的な定員の確保に向けて、商業教育の活性化と広報活動に努める。
- 3 進路指導の充実・強化に努める。
- 4 生徒指導の充実・強化に努める。
- 5 特別教育活動の活性化に努める。
- 6 安心・安全な学校づくりを推進する。
- 7 コミュニケーション能力の育成およびビジネスマナーの修得に努める。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 学力の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・分かる授業を推進し、学力の向上を図る。 ・授業時間の確保と授業内容の充実を目指す。 ・課題の提出や予習復習を徹底させて、家庭学習の習慣付けを行う。 ・授業観察等を通して、指導法を工夫改善し、指導力を高める。 ・学習意欲の低い生徒への組織的・計画的な指導を行う。
2 安定的な定員の確保に向けて、商業教育の活性化と広報活動に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得のための課外授業の実施に努める。 ・広報紙・ホームページ等で商業教育の広報活動を積極的に推進する。 ・地域と連携した商業教育の推進を行う。 ・効果的な体験入学を実施する。 ・メディアの情報に敏感に対応し、情報の共有化を図る。
3 進路指導の充実に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路に関する適切な資料や情報の提供、案内、説明、相談などのガイダンス機能の充実に努める。 ・キャリア教育を発達段階に応じて適切に実施することにより、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力や態度を育てる。 ・進路実現100%を目指し、進学課外や教職員及び外部講師による模擬面接指導などの推進に努める。 ・ホームルーム活動における進路学習や進路相談の内容を吟味し、段階的、系統的な展開に努める。 ・教職員による求人確保及び開拓を推進する。 ・就業体験（インターンシップ）をとおして職業意識の啓発を図るとともに、進路選択を具体的に意識させる。
4 生徒指導の充実に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立に努める。 ・整容指導の徹底を図る。 ・問題行動や事故の未然防止に努める。 ・特別指導の充実改善を図る。
5 特別教育活動の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会及びHR活動の活性化に努める。 ・部活動の活性化に努める。 ・体育祭等の学校行事の充実に努め、生徒の主体的参加を促す。 ・ボランティア活動を推進して、奉仕する喜びを知る。
6 安心・安全な学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健康な生徒を育成する。 ・自主的に安全を守る能力を養う。 ・学校の環境衛生について適切な維持管理に努める。
7 コミュニケーション能力の育成および ビジネスマナーの修得に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えを口頭や文書で的確に表現する力を養う。 ・挨拶の励行 ・他人の言葉や意見に素直に耳を傾け、相手の気持ちを推察する能力を養う。 ・ビジネスマナーの徹底